

舞踏・中嶋夏 照明・音響・曾我傑



煙のよつに 灰のよつに

〈煙〉も〈灰〉も、〈火〉という字が中に隠されています。〈消滅〉が単に消えてなくなるのではなく、〈再生〉が孕まれているということです。そして何かと何かは孕みあって、複合しているということですね。まるで崩れて灰になる寸前の焔に、〈火種〉が隠されていたように……

日時 … 2015年7月5日(日) 開演…
会場 … にぎわい交流館AU 多目的ホール
入場料 … 当日精算券 1000円

18時 秋田弁朗読劇『病める舞姫』第二章
19時 舞踏公演「煙のように 灰のように」

心と身体のワークショップ

中嶋夏さんは東京都内で障がい者のためのワークショップ教室を3か所で開催しており、秋田においても、同様の活動を毎年続けていく予定です。今回は、2014年に続いての秋田での2回目のワークショップです。障がいのある方を中心に、健常者やプロのダンサーも加わり、ダンスを通して心と体をのびのびと解放させるプログラムを実施。どなたでも参加いただけます。



講師：中嶋夏
日時：2015年7月2日(見学不可)、3日(見学可)18:00-20:00
会場：ふれあい交流館 白樺 受講料：無料

つちのあかりプロジェクト絵画、オブジェなど作品の展示

秋田公立美術大学の学生と社会人による、障がい者の芸術活動をサポートしている「つちのあかりプロジェクト」さんによる展示会です。

日時：2015年7月2日13:00-16:00、3日10:00-16:00
会場：ふれあい交流館 白樺 入場料：無料

中嶋夏と霧笛舎

土方巽、大野一雄に師事。暗黒舞踏創立に関わる。1969年舞踏集団「霧笛舎」創立。1983年のロンドン国際演劇祭を皮切りに、エジンバラ芸術祭、イスラエル・フェスティバル、ロサンゼルス芸術祭など、世界有数のフェスティバルに参加。1989年よりニューヨーク市立大学舞踊科、アメリカ・ニューヨーク・ラヴァン研究所、デンマーク・コペンハーゲンDANCE HUSなど各国舞踊研究所にて舞踊教授、および振付、演出家として活動。1990年カナダ、モントリオール舞踊団に対する「幽霊」の振付で、カナダ・フェスティバル振付第一位受賞。1991年全米パフォーマンス見本市年間特別アーティスト賞受賞。1992年より知的障害者のダンス教育に関わりました。中嶋さんは戦後間もなく樺太から引き揚げてきて、幼少期を大館で過ごしました。引き上げ船の霧笛の音や、秋田での生活もまた、中嶋さんの舞踏の原点になっています。

土方巽
記念秋田舞踏会



土方巽メモリアル30

DANCE EXPERIENCE WORLD in 秋田

土方巽メモリアル30 DANCE EXPERIENCE WORLD in 秋田

来年2016年は土方巽没後30周年にあたります。土方巽記念秋田舞踏会では、本年2015年から3年間にわたるメモリアルイベントを実施します。近年は舞踏を先進的に受容した欧米での土方巽の舞踏への着目、そしてアジア諸地域での土方巽の舞踏への関心の高まりが顕著です。土方巽の舞踏の創造を促したのは、何と云っても秋田の風土と人に他ありません。聖地ともいべき秋田において土方巽の舞踏を正しく紹介することは、きわめて有意義であると考えています。世界における舞踏の現況を知り、ひいては秋田から舞踏芸術を発信することが本活動の目的です。



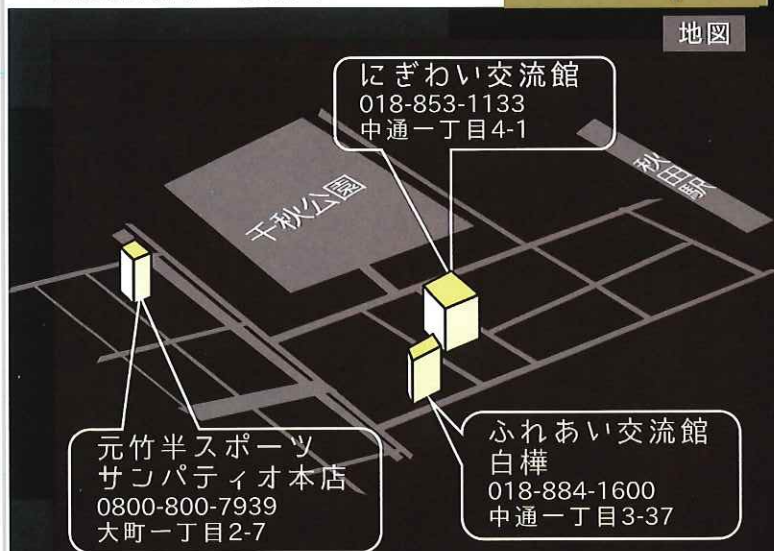
『病める舞姫』を 秋田弁で朗読する

六月公演の第一章「けむり虫」編に続き、今回は第二章「二つの存在」編をお送りします。土方巽が1977年から1978年にかけて『新劇』誌上に連載した『病める舞姫』は秋田での少年期の観察と記憶をもとに、自然や人々の生活の事象が独特の言語表象をもって記述された文学作品です。近年、本書の読書会やリーディングがさかんに行われ、ダンス作品も次々と創作され、海外でも注目され始めています。慶應義塾大学で初めて秋田弁での朗読公演が試みられ、昨年11月には、谷京子の朗読指導、福田とよおの秋田弁翻訳で、土方巽記念秋田舞踏会が市民による秋田弁での朗読劇を実施しました。なお、本作は白水社より出版されているほか、『土方巽全集』（河出書房新社）に収められています。

秋田弁朗読劇『病める舞姫』
第二章「二つの存在」編
日時：2015年7月5日18:00-19:00
演出・朗読指導：谷京子
秋田弁翻訳：福田とよお
出演：谷京子、公募生

第二章 二つの存在編

地図



にぎわい交流館
018-853-1133
中通一丁目4-1

元竹半スポーツ
サンパティオ本店
0800-800-7939
大町一丁目2-7

ふれあい交流館
白樺
018-884-1600
中通一丁目3-37



創作パフォーマンス「私の病める舞姫」 秋田の妖怪に出会う旅

2014年11月にさきがけホールで上演した「『私』の病める舞姫」の第二弾を今年の7月に秋田で上演します。「病める舞姫」とは秋田出身の舞踏家、土方巽が書いた本です。今回は「病める舞姫」＝「個人の記憶」という観点から、踊りや語りによるパフォーマンスを上演しました。今回「病める舞姫」＝「秋田の闇（目に見えない者たち、秋の妖怪）」をテーマに、個人の記憶に加えて、秋田での取材フィールドワークを通じて「現代の秋田における妖怪」：あぶり出し、作品を立ち上げます。

演出・振付：島崇 出演：島崇、公募生
日時：2015年7月4日15:00-16:00
会場：元竹半スポーツ サンパティオ本店

2015年 今後の予定

舞踏公演とワークショップ

8月23日 SU-EN 「海山の交わる場所」男鹿市大龍寺
和栗由紀夫 「舞踏譜の舞踏」

8月20日-22日 舞踏ワークショップ 男鹿市大龍寺
8月24日-26日 舞踏ワークショップ 男鹿加茂青砂

秋田弁朗読「病める舞姫」

8月23日「秋田弁朗読劇『病める舞姫』」第三章「春先の泥」編 男鹿市大

公募によるダンスパフォーマンス

8月27日「Akita four seasons～うみやまの間」 男鹿加茂青砂小学校

特別企画

8月23日 男鹿半島スタジアムツアー 男鹿市一五社堂一八望台一大龍寺
(舞踏公演・朗読劇・なまはげ太鼓鑑賞含む)

10月10日「土方巽の秋田」講演とリサイタルの夕べ
にぎわい交流館AU ミュージック工房①

講演：森下隆
作曲、ピアノ：佐藤滋 パリトン独唱：奈良陽平

お申込み・お問い合わせ先

土方巽
記念秋田舞踏会



土方巽記念秋田舞踏会
秋田市泉中央1-11-4
電話：018-864-1179
http://akita-butoh.org
E-mail:hijikata-akita@live.jp

主催：土方巽記念秋田舞踏会
助成：独立行政法人 日本芸術文化振興基金、秋田県文化による地域の元氣創出
補助事業、認定NPO法人 あきたスグッチェファンド
後援：秋田市教育委員会、一般社団法人秋田県観光連盟、公立大学法人秋田公立
美術大学、秋田魁新報社、A B S 秋田放送、A K T 秋田テレビ、A A B 秋田朝日
放送、エフエム秋田
協力：慶應義塾大学アート・センター

